



ひかり

令和5年4月24日

第1号



「チーム和光」の一人として

日常の様々な場面で、「チーム〇〇」という言葉を耳にします。

複数の人が集まる集団のことを「グループ」とも表現します。違いは何かと疑問に思い、意味を調べてみました。すると、「チーム」は、「目的を共有し互いに働きかけることができ、個々の役割が明確である集団」とありました。「グループ」が、「単に行動を共にする人達」であるのに対して、「チーム」は、多様な人材が互いの良さを発揮しながら一つのゴールに向かって協働している集団なのです。

例えば、野球の試合でホームランバッターぞろいのチームがあっけなく負けてしまうことがあります。またその一方で、スター選手不在のチームが粘り強く戦い、勝利を手にすることもあります。個々の選手の能力は決して高くなくても、堅い守備、確実な送りバント、犠牲フライなど、ミスをしないプレーが得点に結びつき、勝利を生むのです。

では、このチームはどうしてこんなプレーができたのでしょうか。それは、個々の選手がチームのために自分が何をすべきかを理解し、過酷な練習を積み重ねて試合に臨んだからなのです。そして、試合のここぞという場面で仲間の信頼に答えてチームを勝利へと導いたのです。もちろんホームランを打つ選手も、打者を連続三振で抑えるピッチャーも大切な存在ではあるけれど、緊迫した試合の勝敗を分ける場面で、これまで練習を積んできた自分を信じ、冷静かつ確実にプレーを決められる選手こそがチームには欠かせない存在なのです。

あの栗山監督がWBCの優勝会見で次のように言いました。「……どっちに転んでもいいような難しい試合で選手たちは本当に自分の役割をその場その場でしっかりやりきってくれた。素晴らしい試合だったし、素晴らしいチームだった。」



生徒の皆さん、これからいよいよ始まる『新縦割りチーム』の中で、どうか自分自身に磨きをかけ、「チームに欠かせない自分の役割を果たせる一人」になってください。そして、心をついにし、真の仲間を得ることで、「チーム和光」を作っていくてください。今年は、待ちに待った『財田町体育大会』も開催予定です。また、昨年同様、音楽祭（合唱コンクール）もやります。それらに先立って、7月に和光中を訪問する台湾の中学生と『混成縦割りチーム』で交流活動を行います。言葉の壁など全く感じさせないような笑いが絶えない交流の時間にしましょう。

■ 新しい仲間の『はじめの一步』 ■

4月6日に新しく仲間入りした31人の1年生たちは、今、和光中に新風を吹き込んでいます。パワーあふれる朝の挨拶や授業中の話合い活動での前向きな取組、宿題提出100%(4/21金:数学ワーク)など、さまざまな場面で頑張る姿が見られます。「部活どう?」と尋ねると、「しんどいけど楽しいです!」と返ってきました。これから、先輩達の後ろ姿を見て、しっかりと成長していくてください。



〔4/23 日朝の1年生自転車置き場の様子〕